



篠山城大書院

ささやまじょうおおしよいん

ささやま しろ てんしゆ とくがわ
篠山のお城に天守がないのは、徳川
いえやす たたか しゆ
家康が戦いむけの城にするために
ごうか てんしゆ
豪華な天守はいらないと言ったから
らしい。大書院はお殿様が政治活動
をおしよいん とのさま せいしかつどう
をしたり、他の国のえらい人と会うの
をたたくに ひと あ
に使われた建物じゃよ。



天守

第1問・第2問▶シアター室の
「篠山城物語」を見よう!

第3問▶上段の間のパネルを見よう!



青山歴史村

あおやまれきしむら

めいししいん ささやまはん との
明治維新で篠山藩がなくなり、お殿
さま べつてい けいえんしや
様の別邸となったのが桂園舎じゃ。
いしようくら ほんぎかん
衣装蔵だった版木館には、ゆかりの
しななな えどしたい きようかしよ いんさつ
品々や、江戸時代に教科書を印刷し
た版木もあるぞ。デカンショ館では
ほんぎ かん
デカンショ節についても学べるぞ。

第7問▶版木館の「青山家紋入持」(あおやま
かもんいりながもち)にかいてあるぞ。

第9問▶版木館のガラスケースに展示してある。

篠山城大書院

〒669-2332 兵庫県丹波篠山市北新町2-3
TEL.079-552-4500 FAX.079-552-5110



歴史美術館

れきしびじゅつかん

たんばささやま つた
歴史美術館では、丹波篠山に伝わる
ぶく びょうぶ どうしき むかしむかし
武具や屏風、陶磁器などなど…昔々
から篠山地方に伝わる美術品を展示
ささやまちほう つた びじゅつひん てんじ
しておるぞ、お宝がいっぱいなん
じゃ。展示品の他にも、「法廷」だった
てんじひん ほうてい
部屋は必見じゃ。

第4・5問▶玄関にあるパネルにヒント。

第6問▶展示室のパネルを読んでくれたまえ。

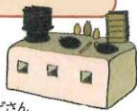


武家屋敷 安間家史料館

ぶげやしきあんまけしりょうかん

かち みぶん さむらい
「徒士」という身分のお侍がすんで
いせ むかし せいかつ しな
おった家じゃ。昔の生活の品がいつ
ぱいあるぞ。「おくどさん」と呼ばれ
るかまどや流し台は必見じゃ。昔はガ
スコンロも水道もなく、火をおこし水
すいどう ひ みず
を井戸からくんで料理したのじゃよ。

第12問▶パンフレットに書いて
あるぞ。よく読んで
くれたまえ。 おくどさん



ゴール

クイズが全問できたら最後(さいご)の施設
(しせつ)の受付(うけつけ)に出してね!
「丹波篠山歴史博士認定書」がもらえるぞ!



ささやまじょう
おおしよいん



あおやま
れきしむら

チャレンジ!

丹波篠山

歴史博士

丹波篠山歴史博士のクイズ
に答えよう!



れきし
びじゅつかん



ぶげやしき
あんまけしりょうかん



丹波篠山の
歴史四館をまわって
クイズに答えるのじゃ!



学校名 _____

年 組 班 名前

1

篠山城大書院



ささやまじょう
おおしよいん



第1問

篠山城大書院に行ってみよう。ささやまのお城は有名な徳川家康が命令してつくったお城じゃ。一番はじめのお殿様は、その子どもといわれている人物じゃが、さて名前はなんという？

第2問

では、このお城は何年にたつたのかな？
ヒントは江戸時代じゃ。

年

第3問

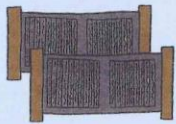
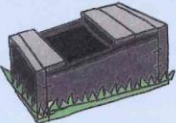
上段の間にいこう。正面は大床、むかって右には違いだなど帳台構。左側につくられた出窓のようになったものは何という？この名前から建物が「大書院」と呼ばれるようになったのじゃよ。

3

青山歴史村

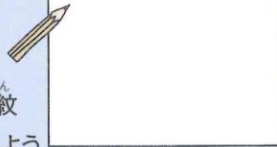


あおやま
れきしむら



第7問

お殿様の別邸※青山歴史村に行ってみよう。青山のお殿様の家紋(マーク)は何かな？絵に描いてみよう。無文銭とよばれる家紋じゃよ。※もう一つの



徳川家康の家紋
【三つ葉葵】
(みつばあおい)

第8問

デカンショ館の前に大きな石があるじゃろ。これは「石造金櫃」といって、もともと土の中にくまっていたのじゃ。さて、これは何に使われていたものかな？

第9問

版木館にある漢字がぎざり彫られた黒い板はなんというかな？昔、藩の学校「振徳堂」でつかわれた教科書の印刷版だよ。

2

歴史美術館



れきし
びじゆつかん



第4問

明治時代の建物、歴史美術館に行ってみよう。ここは、もともと別の目的でつくられた建物を美術館に改装したのじゃが、さてもとはなんの建物じゃったのかな？

所

第5問



では、この建物は、明治何年に建てられたのかな？

年

第6問

文政元年(1818年)、お殿様の青山忠裕が、有名な陶芸家欽古堂亀祐から指導を受けてつくった焼き物の名前は？ ○○○焼

焼

4

武家屋敷
安間家史料館



ぶけやしき
あんまけしりようかん



※扶持(ふち)とは家来(けらい)をやとうために与えたお米

第10問

武士のお屋敷武家屋敷安間家史料館に行ってみよう。ここは篠山藩の安間さんという武士が住んでいたお屋敷じゃよ。下級武士の家としては広いほうとされておるが、さて何部屋あるかな？

部屋

第11問

中庭にある土蔵の外壁には火事になりませんようにと、おまじないで漢字一字をしるしておるが、さて何と書いてある？

第12問

江戸時代の武士は、一年間のお給料を〇石という単位で、お金ではなくお米をお殿様からもらっていたんじゃ。では、安間家のお給料は何石何人扶持だったのかな？

石 人扶持